

News Release

平成21年2月12日

パイオニア株式会社
代表者名 代表取締役社長 小谷 進
(コード番号 6773 東証第一部)
問合せ先 常務取締役経理部長 岡安 秀喜
電 話 (03) 3494-1111

連結財務諸表における会計基準の変更について

当社は、本日開催の取締役会において、平成21年3月期（平成20年4月1日～平成21年3月31日）期末決算より、連結財務諸表の作成基準を米国会計基準から日本会計基準に変更することを決議しましたので、次のとおりお知らせします。

1. 変更の理由

当社は、連結財務諸表の作成基準として米国会計基準を採用していますが、ニューヨーク証券取引所への上場を廃止したことおよび米国証券取引委員会への登録を廃止したことに加え、資金調達に係る財務報告を日本会計基準に切り替えることとし、これに伴って、平成21年3月期期末決算より連結財務諸表を日本会計基準で作成します。

2. 今後の見通し

本日、日本会計基準による平成21年3月期連結業績予想を発表しています。内容については、発表資料『平成21年3月期 連結業績予想の修正について』をご覧ください。

また、日本会計基準による平成21年3月期第1四半期から第3四半期までの四半期連結財務諸表を本年3月中に開示する予定です。

見通しに関する注意事項

当発表資料中、当社の現在の計画、概算、戦略、判断などの記述、また、その他すでに確定した事実以外の記述は、当社の将来の業績の見通しに関するものです。これらの記述は、現在入手可能な情報による当社経営陣の仮定および判断に基づいています。実際の業績は、様々な重要なリスク要因や不確定要素によって、見通しの中で説明されている業績から大きく異なる可能性もありますので、これらの記述に過度に依存されないようお願いします。また、当社は新たな情報、将来の事象、その他の結果によってこれらの記述を常に見直すとは限らず、当社はこのような義務を負うものではありません。当社に影響を与え得るリスクや不確定要素には、(1)当社が関わる市場の一般的な経済情勢、特に消費動向、(2)為替レート、特に当社が大きな売上や資産、負債を計上する米ドル、ユーロ、その他の通貨と円との為替レート、(3)継続的な新製品導入、急速な技術開発、厳しい価格競争、主観的で変化しやすい消費者の嗜好等の特徴とする、競争の激しい市場において、評価の高い製品やサービスを継続して設計、開発する能力、(4)事業戦略を成功させる能力、(5)事業に影響を与える技術進展に応じて、競争し、販売戦略を策定、成功させる能力、(6)研究開発や設備投資に十分な経営資源を継続して投下する能力、(7)ブランドイメージを継続的に向上させる能力、(8)他社との合弁や提携の成功、(9)事業構造改革の成功、(10)偶発事象の結果などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

以上